

■Vドラム科 講師資格認定オーディション【課題】«2018年4月～2019年3月»

掲載の要項の該当期間は、**2018年4月～2019年3月**です。

指定課題曲の選択ミスなどは「不合格」となりますので、お間違いのないようご確認の上、受験に臨んでください。

実技課題と筆記課題（聴音を含む）は、個別に受験することができます。

※Advanced 講師資格認定オーディションの受験は、Basic 講師資格の取得が条件となります。

課題/ランク	Vドラム科Basic講師資格	Vドラム科Advanced講師資格 [※]
能力 求められる	<ul style="list-style-type: none"> ●8ビートや16ビートを基本とした標準的なリズム・パターンを安定して演奏できる。バックングデータとのアンサンブル演奏ができる。教本『Vドラムベーシックマスター』修了程度で、初心者の生徒に演奏の手本を示すことのできる演奏力、および初見演奏力。 ●ドラムに関する基礎的な知識（楽器、奏法、ドラム記譜法等）。 ●簡単なドラム・フレーズを採譜できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●8ビートや16ビートをはじめ、シャッフル、ジャズ、ラテン、変拍子の曲など、特定のジャンルに偏らず幅広く演奏でき、講師として説得力のある演奏力、および初見演奏力。 ●ポピュラー系音楽全般についての幅広い知識。 ●ドラムに関する知識全般（楽器、奏法など）。 ●Vドラムやデジタル・パーカッションについての基礎知識や、Vドラムを活用したレッスン・アイデアがある。 ●1曲を通してドラム・パートを正確に採譜できる。
実技課題	課題曲 ローランド V ドラム(*)にて演奏 教本『Vドラムベーシックマスター』より「Exercise 1」「Exercise 2」の2曲をバックングデータ（mp3 オーディオデータ）に合わせてアンサンブル演奏 ※暗譜は不要ですが、譜面どおりに演奏してください。 ※バックングデータ（mp3 オーディオデータ）の準備および再生の操作は会場側で行ないます。 ※演奏時に使用するVドラム内蔵のドラム・キットの指定はありませんが、標準的なドラムセットの音色キット（1番の内蔵キット）をご使用ください。 (*) 使用機種は会場によって異なります。あらかじめ実施会場にご確認ください。	ローランド V ドラム TD-30KV-S(*)にて演奏 教本『Vドラムパフォーマンス 1』より、ソング「8ビート①」「8ビート②」「シャッフル」の3曲のうち、当日指定する2曲をバックングデータ（mp3 オーディオデータ）に合わせてアンサンブル演奏 ※暗譜は不要ですが、譜面どおりに演奏してください。 ※バックングデータ（mp3 オーディオデータ）の準備および再生の操作は会場側で行ないます。 (*) 使用機種は会場によって異なります。あらかじめ実施会場にご確認ください。
	自由曲 -	携帯音楽プレーヤー・CD等とのアンサンブル演奏、5分以内の楽曲1曲 ※携帯音楽プレーヤー・CDはご持参ください。再生の操作は会場側で行ないます。 ※ローランド社製のデジタル・パーカッションの持ち込み可。機種は新旧問いません。事前に機種名をお知らせください。
	初見演奏 1小節の基本パターン/フィル・イン・パターンのドラム譜を4種類ずつ提示。この中から指定されたパターンを組み合わせ、以下の例のように計8小節をソロで演奏。 <例> 基本パターン(A) 3小節 → フィル・イン・パターン(C) 1小節 ⇒ 基本パターン(D) 3小節 → フィル・イン・パターン(A) 1小節	16小節程度のドラム譜を予見（2分）後、ソロで演奏 ※予見後、審査員の合図があってから1分以内に演奏を開始してください。
筆記課題	専門知識・楽典 ・基礎的な楽典（楽譜の読み方、楽語についてなど） ・ドラムに関する知識問題（楽器について、ドラム関連用語、ドラム記譜法など） (30分)	・基礎的な楽典（楽譜の読み方、楽語についてなど） ・ポピュラー、ジャズ、ラテンなどの音楽史全般、リズムの種類 ・ドラムに関する知識問題（楽器について、ドラム関連用語、ルーディメンツの名称など） ・Vドラムやデジタル・パーカッションについての基礎知識 ・小論文 (40分)
	聴音 4小節のドラム・ソロ演奏フレーズ（1種）、4小節のバンド演奏フレーズ（2種）を聴き（1人1台CDプレーヤー+ヘッドホン使用）、いずれもドラム・パートのみを採譜 (30分)	1分程度のバンド演奏曲を聴き（1人1台CDプレーヤー+ヘッドホン使用）、ドラム・パートのみを採譜 (30分)